

ときも見守りネットワーク通信

～いざという「ときも」見守られている安心を～

令和6年2月20日
(不定期発行) 第7号
発行：川越市福祉推進課

令和5年度の通報状況

主な通報理由	件数
新聞がたまっている	12
配達物がそのまま	1
様子がおかしい	1
安否不明	3
心配	6
合計	23

世帯状況別	件数
65歳未満単身	6
65歳以上単身	14
65歳以上複数	3
合計	23

令和5年度(R6.2月現在)の通報総数は、23件でした。主な通報理由及び世帯状況は、左記のとおりです。昨年度と比較して、生活の様子等を心配しての通報が目立ちました。通報者についても協力事業者以外の事業者の方や近所の方、遠方の友人などからの通報もありました。対象者は、これまで同様に、65歳以上の単身世帯が多くありました。通報後の状況としては、ほとんどのケースで、施設等への入所や異常がないことを確認できましたが、救急搬送されるケースや死亡していたケースも確認されました。

社会的孤立や高齢者独居が、現代の潜在的な問題となっていますが、日常業務の中で、少しでも気になることがあった際は、福祉推進課(049-224-5769)にご連絡いただければ幸いです。

令和6年2月現在、登録事業者数は206です。

この事業にご協力いただける事業者さまに心当たりがある場合は、ぜひお声がけ下さい！

福祉総合相談窓口開設から早3年！

川越市では、令和2年6月、川越駅西口「川越市民サービスステーション」の中に、福祉総合相談窓口を開設しました。福祉総合相談窓口は、高齢、障害、子育て、生活困窮等の各分野の専門職の相談と連携によるワンストップの相談窓口であり、福祉相談センター・障害者総合相談支援センター・子育て世代包括支援センター・自立相談支援センターの4センターで構成されています。市職員と委託業者が同じフロアで勤務していることや土曜日及び午後6時15分まで開庁していることなど今までにない体制を取り入れています。また、駅からも近く利便性も良いです。

住民が抱える一機関では解決が困難な福祉の問題や、地域に埋もれている課題などを早期に発見し、包括的に受け止め、調整し支援につなげることを目的としています。各センターや関係機関等が連携・協働し、地域における様々な地域生活課題に丁寧に対応します。

お困りの方を見つけましたら、相談できる場所があるよ、とぜひ周知下さい！！

